

ほんべつ 議会たより

No.110

2024年(令和6年)
8月1日発行



みんなで踊ろう! ベックタイム

認定こども園ほんべつ

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索

地域と共に124年
来春閉校 仙美里小学校

令和7年3月に閉校する仙美里小学校は、明治34年10月に第一本別簡易教育所として開所以来、来年3月の卒業予定者5人を含め3,047人の卒業生が巣立ちます。

在校生と仙美里小学校にゆかりのある人に、お話を伺いました。



在校生の思い

1年生のスケート大会で、まだうまく滑れなかったけど、みんなが応援してくれて最後まで滑りきれたことが良い思い出です。

仙美里小が閉校することはさみしいですが、中央小にはこども園に通っていたときの友達がいるから楽しみです。



仙美里小学校 5年
かま だ ゆう き
鎌 田 悠 生 さん

今年最後の運動会で優勝できたことがうれしかったし、バラエティリレーで親と一緒に競技をしたことが楽しかったです。1年生のときにきれいなドレスを着れたことが思い出になっています。

閉校はさみしいですが最後の卒業生として頑張りたいです。



仙美里小学校 6 年
おおわだ ち さ
大和田 知 咲 さん

卒業生の思い



平成10年3月卒業
つか ばやし とも や
塚林 智也 さん

私が在校していた26年前は、1クラスに12人いました。仙美里小学校で学び、野球少年団でたくさんさんの思い出を作ることができました。統合はさみしい面もありますが、子どもたちのためを思うとうれしくもあります。

入学と同時に野球を始め、6年間野球を追い、高学年ではピッチャーとキャプテンを任せられ、勝ったことも負けたことも一番の思い出です。地域全体で開催した運動会は、出番も多く大盛況で楽しかったです。母校が無くなるのはさみしいことです。



平成25年3月卒業
なり た ゆたか
成田 豊 さん

地域からの思い

私の家からは校庭で運動会の練習などしている子どもたちが見えて、日常生活の一部となっていました。子どもたちの元気な姿は地域の明日への活力であり、学校の閉校はとてもさみしいですが、子どもたちには仙美里小学校を忘れないでほしいと切に望みます。



仙美里元町
ひろ た
廣田 はるみ さん

家では見せない表情を先生が引き出してくれる学習発表会。運動会では全校でよさこい等、仙美里小ならではのイベントが思い出深いです。行事が終わるたびに、近づく閉校を感じさみしいですが、この経験がきつとみなさんの力になると思います。



仙美里小5年生の母
たか はし やす こ
高橋 康子 さん

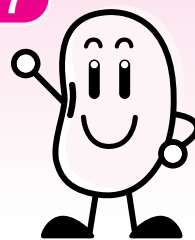


仙美里小学校の沿革

- 1901年（明治34年）10月 第一本別簡易教育所として開所（児童数26人）
- 1907年（明治40年）第一本別尋常小学校として現在地に移転・新築
- 1947年（昭和22年）仙美里小学校に改称
- 1970年（昭和45年）新生小学校、拓進小学校を統合
- 1975年（昭和50年）美栄小学校、拓栄小学校を統合
- 1980年（昭和55年）現在の校舎を新築
- 1998年（平成10年）美里別小学校を統合
- 2014年（平成26年）仙美里中学校が閉校
- 2020年（令和2年）仙美里へき地保育所が閉所
- 2025年（令和7年）3月 仙美里小学校を閉校し、中央小学校へ統合



vol. 7



どうなったべ？

その質問

一般質問追跡コーナーでは、議員が行った一般質問が、その後の町政にどのように反映されたのかをお知らせしています。

今後の特別養護老人ホームのあり方について

(令和5年6月定例会議会でより106号掲載)

宮本
議員

特別養護老人ホーム建設に当たっては、将来を見据えたあり方を検討するべきです。ベッド数を減らさなければ民間企業の経営を圧迫し、介護保険料で将来の子どもたちに負担を負わせるのでは。

施設利用と在宅サービスのバランスを取りながら基盤整備を進め、官民どういった形がよいかわかる見据えて検討してまいります。



その後…

特別養護老人ホームの建て替えは行わず、町内の老人保健施設で要介護3～5の人を30人程度受け入れていただきます。

また、太陽の丘に複合ゾーンとして制度外住宅やデイサービス（福祉避難所）、大浴場などを整備していきます。



希望者は何人？ 子どものワクチン接種は慎重に

(令和4年3月定例会議会でより101号掲載)

梅村
議員

コロナは発症しても重症化例がほほないが、ワクチンには副反応という大きなリスクがあります。

アンケート結果でも、子どもの接種希望者は少ないので、接種券の一律送付は行わず、申請制にするべきでは。

一律送付は行わず、希望する人に接種券を送付したいと考えています。



その後…

接種券の一律送付は行わず、希望する人の申し込み制としました。

本町の子どものコロナワクチン接種率は、次のとおりでした。

5歳未満	0%
12歳未満2回まで	1.64%
3回接種	0.82%





防犯カメラ設置について

(平成30年9月定例会議会だより87号掲載)

防犯対策の推進について

(令和元年6月定例会議会だより90号掲載)

防犯カメラの設置について

(令和2年9月定例会議会だより95号掲載)

防犯カメラの設置と運用について

(令和4年6月定例会議会だより102号掲載)

石山
議員

防犯カメラは、児童生徒が安心して通学できる環境整備として、また犯罪防止や行方不明者の捜索に有効であるため設置すべきでは。

目的に沿った場所の選定など、次年度の設置に向け、準備を進めます。



その後…

防犯カメラを設置しました。

北8丁目ふれあい公園と共栄の観光情報センター、愛のかけ橋に設置をし、現在稼働しています。



愛のかけ橋



町民の命と健康を守る 暑さ対策について

(令和5年9月定例会議会だより107号掲載)

藤田
議員

避難所となる体育館のほか、中学校、小学校の職員室、図書館、公民館、食品を扱うゲンキッチンにエアコンを設置すべきでは。

教室や各施設の目的や利用状況、避難所指定の有無を考慮した中で、優先順位をつけ、設置に向けた検討をします。



その後…

現在、エアコンを計画的に設置しています。

ゲンキッチン、勇足中学校、本別中学校、図書館は設置済です。体育館と公民館、小学校職員室は令和7年度設置予定です。



図書館



ゲンキッチン



7人の議員から9問

町政を問う!

一般質問

暮らし

国保病院による在宅看取りの実現を
答 これまでも看取りは実際に行っていました



宮本やよい議員

考えますが見解を伺います。

①町国保病院の在宅看取り実績は。

②在宅看取りを実現するための課題は。

③看取りをしてもらえる人と、してもらえない人の違いは何なのか、明解な答弁を求めます。

宮本議員 「人生の最期は病院」という時代から、近年では自宅での看取り希望者が増えていきます。
希望者の看取り実現には国保病院の協力が必要不可欠と



最期を自宅で穏やかに

佐々木町長 本人や御家族の意思を尊重しながら、医療サービスの提供を行っています。また、患者の需要・希望に沿った形で対応していくというのが現在のスタンスです。

①令和5年度1件、令和6年度1件です。

②訪問看護・介護の機能拡充が必要と捉えています。

③特定の人物について優遇するとか、サービスが拡充されるといったことはありません。これまでも看取りは実際に行ってきています。

中央公民館と河川敷運動場のトイレを洋式化へ
答 当面はポータブル洋式便座を設置し対応します



藤田直美議員

藤田議員 高齢者の増加や障がい者の社会参加、子ども連れの外出の機会など、誰もが気兼ねなく外出できるよう、利用者の特性に配慮した公共トイレの整備を推進する必要があります。

①中央公民館の3階トイレには洋式トイレが1基しかなく他3基は和式です。町内外から幅広い世代が利用するため洋式に変え、ベビークチェアやおむつ替えシートを設置するべきです。

②南球場、弥生球場、サッカー場に設置の仮設トイレは和式です。特に幼児、小学生低学年は不便を感じており、安心して活動できる環境ではありません。洋式に変える考えはないか伺います。



みんなが利用しやすいトイレへ

高橋教育長 ①段階解消や入り口の広さを確保するなどバリアフリー化を含め災害時の避難所としての機能も考慮し、公民館全体の改修計画と合わせて検討します。当面はポータブル洋式便座を設置し対応します。

②少年団の小学生や保護者に状況を確認し、仮設トイレの洋式化を望む声が多かったことから、今年度はポータブル洋式便座を設置します。

急ぐ南4丁目ペンケキロ川護岸改修工事！

答 部分的な改修工事は早急に実施したいと考えます



加藤徹己議員

加藤議員 これまで幾度も氾濫し、被害が発生しているペンケキロ川ですが、護岸部分の一部が傾倒して川幅が狭くなっています。近年の大雨災害の発生状況を見ますと、

①これまで川の氾濫による被害は確認していませんが、近年の集中的な大雨や豪雨などで、一時的に傾倒部分が越水することが考えられますので、部分的な改修工事は早急に実施してまいりたいと考えています。

地域住民の命と財産を守るためにも、護岸改修工事を急ぐ必要がありますが、以下について伺います。

①維持管理内容と今後の考え方について。
②今後の改修工事への考え方と見通しについて。

佐々木町長 昭和52年に大規模改修を行い、維持管理をしながら現在に至っています。
①過去5年間は、土砂上げ7回、護岸一部改修が4回、水路転落防止柵補修1回を実



急がれる護岸改修！

熊出没情報の周知は早く、広く、確実に

答 今の時代に合った周知方法を考え実践してまいります



梅村智秀議員

梅村議員 熊の出没時、現在は興味本位の見物避けるため場所を特定した広報はあえてせず、周辺の自治会に連絡をするとの運用であるが、そうした町民は存在しないか、少数であり、情報を適切に広報する新たな体制構築が必要です。

①これまで見物人が事故に遭遇や、周辺地域への迷惑行為に及んだことはあるのか。
山菜採りや、林業関係者など、地域外の人への注意喚起も重要です。②行政で活用予定のLINEアプリ等で写真や位置情報の把握、また、同報無線やホームページで共有していく必要があります。さら

に、注意喚起や見回りなどで猟友会や地域の皆さんの力を借り、必要に応じて委託費や報償費などを支出する体制構築も必要です。

佐々木町長 ①これまで見物人の事故遭遇や迷惑行為はありません。今後についてはしっかりと今の時代に合った周知方法を考え、それを実践してまいりたいです。②LINEアプリは熊出没情報の活用に向け、検討してまいります。



熊出没は全町民に周知を



行政

本別町中心部の活性化の考えは

答 よりよいまちづくりに資するよう取り組みます



丑若浩行議員

ですが見解は。
②町なかで開催している出張フィットネスなど、行政で実施する事業と連携が可能ではないでしょうか。

丑若議員 空洞化する本別町中心部に人を集めるために、農協を中心とした本別町中心部活性化協議会が発足し、本別町はオブザーバーとして参加しています。現状で本別町が考える中心部の活性化について伺います。

活性化を目指す「ほんべつ元気館」

①当初予算で、Aコープ跡の建物修理の補助金1,200万円の計上がありま
す。検討にあたり、行政も積極的に関与していくべきと考え

佐々木町長 本別町都市計画マスタープランで、将来的に当該地域において多くの人でにぎわう拠点づくりを目指しております。
①町として活性化協議会に参加し、よりよいまちづくりに資するよう取り組んでまいりたいと考えております。
②町も様々な事業を展開していますが、町なか活性化も踏まえながら連携が可能な事業につきましては、協議会から要望していただければ検討してまいりたいと考えております。

ゼロカーボンシティへ全町民と共に

答 家庭でも様々な取り組みができるよう環境を整えたい



阿保静夫議員

阿保議員 CO₂（二酸化炭素）削減の取り組みを進めるためには、町民皆さんの協力が不可欠です。どのように進めるのか伺います。



町民あげてSDGsの取り組みを

佐々木町長 今年度本格的な協議会を設立し、SDGs・脱炭素推進協議会を開催します。各事業の詳細はフーキンググループで掘り下げることが想定しています。
また、協議会を中心とした中間支援組織の設立を目指します。
今後は、官民連携に加え学校教育、社会教育活動も意識した取り組みを行い、家庭でも様々な行動ができるよう環境を整えていきたいと考えます。

阿保議員 自治会での議論や共通認識を作っていくには、どのような対応をしていくのですか。

佐々木町長 研修会、講演会等に参加いただき、知識を深め、町全体の取り組みにつなげればと考えます。

学校給食の地産地消向上で町を活性化

答 農林課や生産者、農業関係団体と連携を図ります



水谷令子議員

水谷議員 学校給食は、食育

や地域活性化の狙いから本別町も地産地消が実践されています。安全安心な地産産食材の利用拡大や、通年利用の活路を見いだす考えを伺います。

①地場産の利用

拡大には、学校給食と農家や関係機関の情報の共有を行う体制づくりが必要です。

②学校給食協

力農家の情報収集に、新たな供給システムが必要です。



地場産食材でおいしい給食を

図るところから検討します。

③給食の機器

の関係は、今後は災害も考え更新計画を立てていきます。子どもたちの笑顔のパネルや研修については検討していきます。

高橋教育長

①②地場産の利用

拡大には、情報を共有する体制づくりと供給システムを構築するために、農林課や生産者、農業関係団体と連携を

③地場産食材の通年使用を可能にするため、真空調理機器を設置する考えは。また、職員の活用に子どもたちの笑顔のパネルを貼る工夫、職員研修が必要です。

給食センターでの事故・ハラスメント対応は

答 倫理委員会で審理中、結果により必要な措置をします

梅村議員

給食センターにおいて執拗で悪質なハラスメント行為等が散見され、事故も発生しています。

①調理白衣の尻にみそやカリーを塗る行為は、食育の対象となる子どもたちや給食費を払う父兄などに対し、どのような説明をされるのですか。

②職場の備品で多量にシールを作り、靴などに貼られたが、現場の責任者の把握と対応は。

③日頃より危険な状況下で事故は故意性が高いと推察されるのでは。

④問題が生じたときに適切な対応ができないことは課題である種の隠蔽体質と捉えています。

高橋教育長

①食育を推進する場での食材を使った不適切事案であり、説明は、



NO!! ハラスメント

問題が終結した時点で検討します。

②本来は指導をしなければならず、管理監督不行き届きでした。

③故意か不注意かの断定には至っておりません。

佐々木町長

④倫理委員会で審理中であり、結果により必要な措置をしますが、私の心の中に隠蔽の文字はなく心外です。町民の皆さんが最終的にどう終着するのを見た上で、判断していただきたいです。

本別町のSDGs未来都市とは

答 持続可能で笑顔で暮らせる社会を目指します

藤田議員 「ゼロから始める本別町、官民連携ローカルSDGs」を掲げ、SDGs未来都市（15ページ「行政報告」参照）に選定されましたが、本別町が目指している未来都市とは何かについて、以下伺います。

①課題解決のための地域内循環の促進と脱炭素に向けて取り組む事業内容は。

②官民連携による取り組みとは。

③適切な進捗評価や達成状況を関係団体や町民に丁寧に説明していくべきでは。

佐々木町長 ①経済面では特産品等をブランド化し、本別町SDGs商品・サービス認定制度の設立。社会面では中心市街地の空き店舗に着目し、町民や移住者の活躍の場として活用します。また、環境面



本町でも始まるSDGs

意見書

第2回定例会では意見書が2件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保し、森林資源の循環利用を促進するため優良種苗の安定供給、スマート林業の推進、道産木材の需要拡大、人材の育成・確保などの支援を充実・強化すること。

提出者

藤田 直美

可決

意見書

厳しい農業情勢を打開する改正食料・農業・農村基本法と関連法案の施策推進を求める意見書

厳しさを増す農業情勢を打開し、輸入に頼らない国内農業生産の増大が求められるため、①生産基盤の維持・強化に向けた法整備や担い手育成確保の予算を拡充すること。②予期せぬ急激なコスト増については、国が責任を持つて農業者への対策を講じること。③不測時の食料確保にはインセンティブによって政策誘導すること、などを求めます。

提出者

梅村 智秀

可決





第2回 定例会

名誉町民記念品などの 補正予算等を可決

令和6年第2回定例会は6月4日に開会し、各会計補正予算、飲酒運転撲滅を宣言する決議などを審議しました。

一般会計補正

名誉町民記念品

問 条例で定められている名誉町民の記念品と今回制作するものは。

答 条例に基づき名誉町民章を作成します。また、条例には特にうたわれていませんが、慣例により肖像画を制作します。



歴代の名誉町民

仙美里小学校閉校記念事業協賛会補助金

問 補助金の内容は。

答 令和7年3月で仙美里小学校が閉校することに伴い、記念品や記念誌の発行、式典などの記念事業等へ補助をします。

一般会計補正予算に対して、**反対者の討論** 梅村議員

前町長を名誉町民にしたことで計約97万円の提案。町財政が厳しい折に慣例による肖像画制作は時代錯誤。

採決の結果

賛成者7人
反対者3人

可決

請願書

町議会議員による飲酒運転事故ならびに身代わりによる事故届け出がなされた疑いについて事実究明を行い町および町議会の名誉を守ることを求める請願書

令和5年10月27日夜間、道の駅「ステラほんべつ」構内において、車止めの「元氣くん」石像に自動車と衝突。消防および救急車両の出動もある車両大破事故が発生した。

本件事故は、議員が飲酒を行った上で自ら車を運転した疑いがあるが、別の町民が運転者として物損事故届が受理されており、自動車事故を隠ぺいするため虚偽の届け出を行なった「犯人隠蔽罪の教唆犯」または結果として警察が事故当初より速やかに正当な捜査

を行うことができなかったことから「偽計業務妨害罪」等の嫌疑がある。

町議会は本別町と本別町議会の名誉を守り信頼を取り戻すべく、調査及び審査を行い事実究明の上で厳正な措置ならびにその結果を公開することを求める。

(請願者 井出友輝氏、内田智大氏、江平みち氏、太田美沙氏、岡崎優氏、川口真一氏、佐藤貢氏、土蔵啓一氏、中前孝二氏、藤沢明德氏)

委員会での協議

捜査中のものを議会がどのように調査できるのかなど、具体的に議会の調査・審査について確認し、議員協議会で全議員の意見聴取もした中で、今後の調査の可否について協議した。

委員会での採決結果(4/25)

採択 2人
不採択 2人
委員長判断により不採択

委員会のまとめ

願意である事実の究明、厳正な措置、結果の公表について慎重な審査を行い、議会の権限の範疇を超える案件と判断し不採択とした。当時副議長という職責でありながら辞職に至ったことは大変遺憾であり、個人に係る嫌疑ではあるが、本別町議会の信頼を損なう事態である。

全議員が議会議員政治倫理要綱等を再度確認し、遵守するよう努め、今後このようなことを起こさないことを決議書として広く町民に示すべきと考える。

本会議での採決結果（6/4）

請願書を採択することに、
反対者の討論

高橋議員、水谷議員
議会の調査権は犯罪捜査や検察機関の捜査とは異なる。本人は既に辞職しており、疑惑解明責任を求めることができない。事実究明は法に従って行われるべき。

請願書を採択することに、
賛成者の討論 梅村議員

審議過程で「飲酒し事故を起こした、説明する意思はない」事が明らかになり、議会としての説明責任を果たすべき。このままでは議会不信は募るばかりだ。

採決の結果

賛成（採択） 3人
反対（不採択） 7人



上押帯西19号線の一部と上押帯西21号線を町道認定することを求める請願書

提出日 4月19日

宮野由裕氏、今野薫氏
他15人より提出された請願書は、産業厚生常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となりました。

発議

議員報酬の減額支給に関する条例制定

飲酒運転事故撲滅に向け、防止対策を講じるための財源を確保すること。

- ・議員報酬の額 50%減額
- ・減額期間 令和6年7月1日から令和6年7月31日まで

提出者…梅村 智秀
宮本やよい
丑若 浩行

問

減額率50%と期間を1か月とした理由は、

答

長等が行う処分等を含め、近隣やその他の事例等を鑑み、実現可能な金額であると判断したためです。

本件に**反対者の討論**

高橋議員、水谷議員
藤田議員

飲酒運転撲滅には議員個々の気持ち、行動を起こすことが大切。減額が信頼回復につながるとは考えにくい。

本件に**賛成者の討論**

宮本議員、丑若議員

飲酒運転撲滅への取り組みを充実させるために必要。身を切る覚悟を示し、実行するための財源としたい。

採決の結果

賛成者 3人
反対者 7人



決議

飲酒運転撲滅を宣言する決議

本別町議会は、前副議長の飲酒運転事故による刑事事件の嫌疑を受け止めて、町民の模範となるべきことを肝に銘じ、ここに交通安全意識の徹底を強く呼びかけるとともに、関係機関・団体との連携を強化し、町をはじめ町民と一体となって飲酒運転撲滅に向けて、全力を挙げて取り組むことを宣言する。

提出者…高橋利勝

問

決議案が提出されるまでの具体的な取り組みは。

答

今後、関係機関、団体との連携強化をはじめ、町民と一体となって取り組むことを議会の中で議論していきます。

本件に**反対者の討論**

梅村議員

前副議長の飲酒運転事故等嫌疑に関する請願は不採択で、議会はやるべきことをせず、口だけで幕引きか。

本件に**賛成者の討論**

藤田議員

議会として広く町民に示すことが重要。決議も議会ができる権限を使った具体的な取り組みの一つである。

採決の結果

賛成者 7人
反対者 3人



条例改正

税条例の一部改正

問

北海道と町の税条例に関連がある部分について、道の税条例が変わらないのに町の税条例を改正するのは拙速ではないか。

答

今回の改正は、現在の道の税条例及び地方税法と照らし合わせて、整合性が取れているという判断の下で改正をしており、適切であると考えます。

本件に反対者の討論

梅村議員

北海道税条例がどう変わるのか不明、分かった際に再提案すると答弁。それを待ってから提案すべき。

採決の結果

賛成者 7人
反対者 3人

可決

令和6年度各会計補正予算

会 計		(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計		(4,488万3千円) 73億8,531万3千円	所得税定額減税のための給与システム修正などの増 (臨時会) 物価高騰に伴う低所得者支援事業のための経費の増など (定例会)
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	(48万6千円) 9億8,518万1千円	人事異動に伴う人件費の調整による増 (定例会)
	後期高齢者医療	(11万8千円) 1億5,516万7千円	前年度歳入不足による調整 (定例会)
	介護保険事業	(△727万5千円) 9億6,497万8千円	人事異動に伴う人件費の調整による減など (定例会)
	介護サービス事業	(△1,741万3千円) 2億9,771万9千円	人事異動に伴う人件費の調整による減など (定例会)
病 院 事 業 会 計		(245万9千円) 14億8,348万1千円	人事異動に伴う人件費の調整による増 (定例会)

※第2回臨時会(4月30日開催)含む

写真で見る議員活動

part 1

5/11

町民植樹祭(林活議連)



5/25

国会議員との懇談会(学び働く議員会)



議会中継



議会だより

次の定例会は 9月3日(火)開会

11日(水)一般質問を予定しています

総務常任委員会

給食センターの現状と取り組み

4/26

1. 学校給食の組織と運営

学校給食は、学校給食法に基づき、教育活動の一環として実施されています。給食センターの運営にあたり「本別町学校給食運営委員会」を設置しています。

2. 様々な取り組み

- ①多子世帯減免制度
 - ・3人目以降の子どもの給食費全額免除
- ②食育の推進
 - ・毎月の給食だよりでの発信や月に一回「元気くんの日」を開催し、地場産品を使った給食を提供
 - ・栄養教諭や各学校の養護教諭との連携による食育活動実践
- ③地場産品、物産品を活用
 - ・年に一度、地元食材をふんだんに使用した「ふるさと給食」を実施
- ④食物アレルギーの対応
 - ・15人に対して29品目実施



⑤給食試食会

- ・事前申込制で試食会を実施（500円）

まとめ

給食センターは供用開始してから10年が経過し、今後、設備備品などの計画的な更新が必要です。成長期の子どもの健全な心身の発達のため、地場産品を多く活用し、美味しく安全な給食の提供を望みます。

産業厚生常任委員会

上下水道のインフラ維持管理と水質管理

4/25

1. 現地調査

第一取水施設（東本別）、浄水場（東本別）、及び下水道管理センター（共栄）にて、各担当より上下水道の処理状況、日々の点検・検査などの説明を受け、安心安全な管理がなされていることが分かった。

2. 経営状況

各事業において、過去の投資による企業償還金が経営を圧迫している状況である。上下水道事業は町民の生活を支えるライフラインとして重要な社会資本となっており、一般会計からの繰り出しはやむを得ないとする。

3. 投資的経費

更新は計画に基づいて行っている。耐用年数が達した場合も、修繕や維持管理を主体に長寿命化を図っている。

安定的経営の観点から収支均衡を図るため、

計画的に料金水準を改定することも求められる。また、投資の効率化や維持管理費のさらなる削減も必要である。

4. 水質検査

水道水はホームページで公開されているが、下水排水の水質も公表すべきと考える。



行政報告

第2回定例会（6月4日開催）において、町長から行政報告がありました。（抜粋）

SDGs未来都市選定について
内閣府が行っているSDGs未来都市の選定は、地方公共団体によるSDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する都市を選定し、その取り組みに対して補助金による支援を行い、成功事例の普及展開、全国の地方創生の深化につなげるものです。

本町は、「ゼロから始める本別町 官民連携〇ーカルSDGs」をテーマに、地域課題を解決するための経済・社会・環境における地域内循環を促進する取り組みに脱炭素の要素も盛り込んで策定・提案し、全国で24自治体、道内では唯一本町のみが選定されています。

今後、関係団体で構成される協議会を設立し、国・北海道の交付金、補助金も活用しながら官民連携による取り組みを進めてまいりたいと考えています。

写真で見る議員活動

part 2

6/28

議員コンプライアンス研修

先進議会視察研修
(登別市議会)

7/3



議会報告会・町民懇談会のお知らせ

◆日時：令和6年10月15日（火）

昼の部 午前10時～11時30分

夜の部 午後6時30分～8時

◆会場：町体育館2階中競技室

◆対面方式による議会報告会とテーマを決めて小グループに分かれての懇談会を予定しています。

※詳細は改めてお知らせします。

議 会 日 誌

〔 5 月 〕

- 10日 清水町議会視察来町
- 21日 議会運営委員会
- 23日 十勝活性化推進期成会定期総会（帯広市）
- 24日 議会運営委員会視察研修（帯広市、上士幌町）
- 31日 議会運営委員会、一部事務組合議会（帯広市）



- 18日 産業厚生常任委員会
- 21日 広報広聴常任委員会
- 26日 産業厚生常任委員会
- 27日 一部事務組合議会（帯広市）
- 28日 議員研修会（コンプライアンス）、広報広聴常任委員会

〔 6 月 〕

- 4日 第2回定例会開会、議員協議会、産業厚生常任委員会
- 6日 議会運営委員会
- 7日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会総会（北見市）
- 11日 北海道町村議会議長会総会（札幌市）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（議案審議）、議員協議会、広報広聴常任委員会



〔 7 月 〕

- 2日 北海道町村議会議長会議員研修会（札幌市）
- 3日 先進議会視察研修（登別市）
- 4日 産業厚生常任委員会
- 9日 議会運営委員会、議員協議会
- 11日 新潟市議会視察来町
- 12日 広報広聴常任委員会
- 19日 広報広聴常任委員会



ユービーふれいく



今を精一杯 楽しみたい



レベッカ・レッチフオード
(ベック)さん

本別町に来て1年3か月。町の「こども英語チャレンジ事業」の外国人講師として活動している、本別町の姉妹都市オーストラリア・ミッチェル市近郊の街からやってきた、ベックさんにお話を伺いました。

どうして本別町に？

きっかけは、前任で昨年度退任したサウアさんのフェイスブックの投稿で、後任を探していることを知り興味を持ったとのこと。「本別町は都会と違い外

国人が多くないので、より多くの日本人と接し、日本文化に触れられる環境にある」そんな思いが、本別町に来る決め手となったようです。

どんな活動をしているの？

こども園に週4回、勇足保育所に週1回の他、小学校低学年にも英語を教えて

いるベックさんですが、子どもの礼儀が正しいことに驚いたそうです。

また、英語の歌に合わせて一緒に踊る『ベックタイム』では、「子どもたちは積極的で、学び姿勢がある」と話してくれました。

休日の過ごし方は？

休みの日は道の駅めぐり。道内では道南以外、ほぼ足を運んだというベックさん。町内では茶道や書道に挑戦し、冬はスキューも！日本の文化など思う存分楽しんでいる様子でした。

「飯はぶっつけるの。」

なんと、ご飯は自炊。お好み焼きや餃子も手作りしているとのこと。「町内での外食は、そばや焼き鳥、焼き肉が気軽に入り」とユーモア交えて語ってくれました。

こども園では園児と一緒に給食を食べていて、「納豆も大好き!!魚介類は食べられないけど」と、お茶目な一面を見せてくれました。今後は納豆餅を食べてみたいそうです。

将来の夢は？

「将来は日本語を話せるようになりたい。特に決まった夢はないけど、今を楽しみたい。『コナで制限のある生活を経験したから』と、今できることを精一杯やりたい」と、とても前向きな言葉が印象的でした。

子どもたちはベック先生が大好きと言っています。これからも英語教育に尽力をいたさんと共に、本別町でたくさんのおい出を作ってください!!



編集後記

この2年間、議会の様子を町民の皆さんに分かりやすく伝えるよう、委員みなで議論し、編集作業を行ってきました。

議会だよりは、議会の活動を「コンパクトに分かりやすく」が基本ですが、さらに、まちづくりに関して町民の皆さんと一緒に考えるきっかけになればとも思っています。

一般質問は、実際のやり取りの内容と趣旨がきちんと要約され、短い文面の中で、誤解を与えるような表現になっていないかを点検しています。

また、議案審議の質疑などが分かりやすくコンパクトにまとまるよう注意を払ってきました。

議会だよりがこれからも皆さんに愛され読んでいただけるように、編集に努力と工夫をしてまいります。

委員長 阿保 静夫
副委員長 丑若 浩行
委員 加藤 徹己
水谷 令子
宮本やよい